学習サポートシート　小学校国語科

五年生　　『言葉と事実２』　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　五月　　　日

準備するもの　教科書４６ページ～５１ページ

（　１　）教科書四十六ページ～四十七ページの三段落目まで読んで次の問題に答えよう。

〇三段落で筆者は、「事実と結びついていれば、どんな言葉を使っても同じように受け取られるでしょうか。どうも、そうではなさそうです。」といっています。これはどんなことをいっているかくわしく書きましょう。

**考えるときのポイント！**

〇一、二段落目の「うそつき少年の話」の例をよく読み、言葉と事実の関係について考えてかきましょう。

（　２　）「言葉と事実」では、言葉と事実について三つの事例を通して説明しています。次の表に言葉を入れて整理しましょう。（例をもとに考えよう。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ３ | ２ | （例）１　うそつき少年の話 | 事例 |
|  |  | 「おおかみが来た」と事実と結びつかない言葉を何度も使っていたので、言葉と事実が結びついたときに信用できないと思われた。 | 出来事 |
|  |  | 言葉は事実と結びつけて使うことが大切である。 | 筆者の伝えたいこと |

（　３　）今日の学習をふりかえってみましょう。（ふしぎだな、ぎもんに思った、自分はこう思うなどを書いてみよう。）